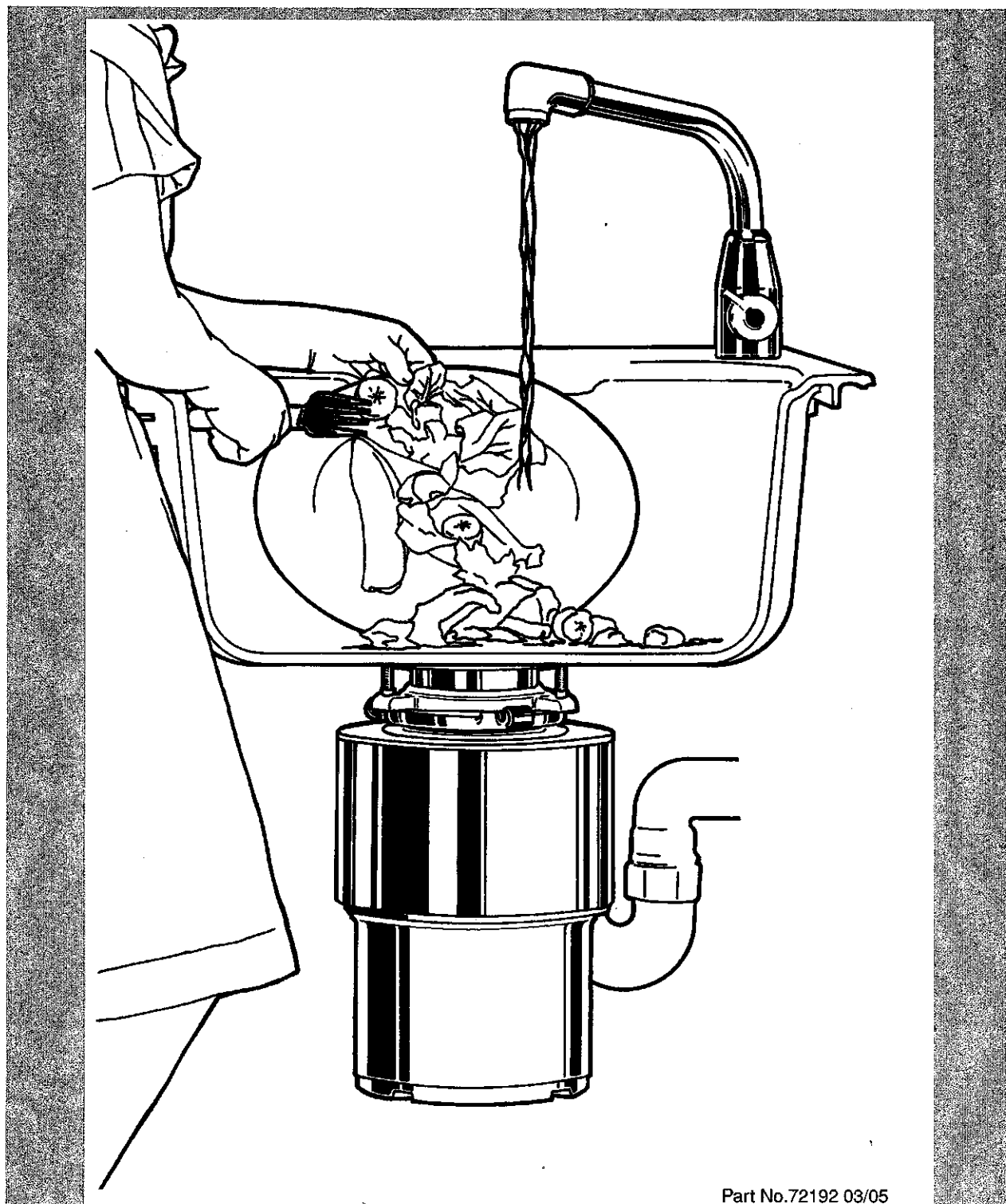




家庭用ディスポーザ 55型

据付, 取扱い, 整備説明書



このたびは本ディスポーザをお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。お求めのディスポーザを正しくご使用して頂くために、お使いになる前にこの「据付、取扱い、整備説明書」をよくお読み下さい。

本説明書にはディスポーザの取り付け方も詳しく図解してあります。
お読みになった後は、いつも手元に置いてご参照下さい。

特 徴

本ディスポーザは一般家庭用として使用できるように設計してあります。キッチンでの労働力を軽減し、清潔に保ち、環境を損なわないこのディスポーザは肉や魚の骨、コーヒーの出し滓などを含めて、台所のごみを迅速かつ効果的に処理します。



警告

警告は重い人身障害や死を招くかもしれない危険や安全を欠く行為に対して注意を促すものです。

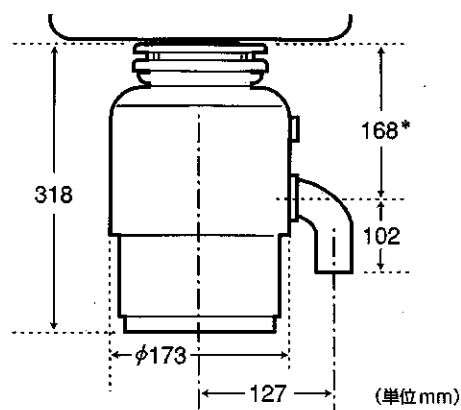


注意

注意は軽い人身障害や物品、財産の損失を招くかもしれない危険や安全を欠く行為に対して注意を促すものです。

この器具の設置と使用に当たっては、この「据付、取扱い、整備説明書」に書いてある諸注意をよく読み、それらの内容を理解して下さい。お子様にはこの器具を使用させないで下さい。

設置寸法



*ーシンクの底部からディスポーザの排出口の中心線までの長さ。ステンレスの流しが使用されている場合はあと13mmほど追加すること。

注意：ディスポーザの処理室に水がよどむのを防ぐために余計な排水ラインがでないように配管工事を行って下さい。

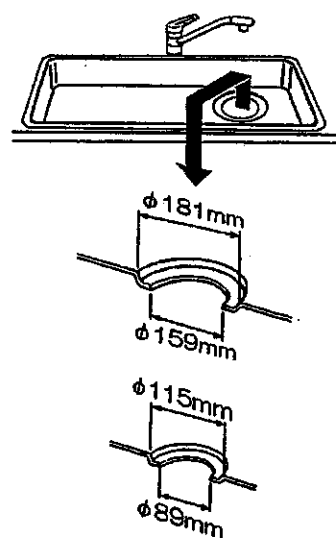
取り付けるシンク排水口径の確認

取り付け可能なシンク排水口の大きさは2タイプです。

① φ181mm (開口穴 φ159mm) の場合
アダプター及び、シンクフランジをそのまま使用して取り付けます。

② φ115mm (開口穴 φ89mm) の場合
アダプターを使用しないでシンクフランジのみで取り付けます。

※上記以外の場合は工事店にご相談ください。



据付説明書

この説明書にはお買い上げいただいたISE家庭用ディスポーザのシンクへの取り付け方と電気接続の仕方が詳しく述べてあります。

必要な道具

1. ドライバー
2. モンキーレンチ
3. ロックナット締付レンチ

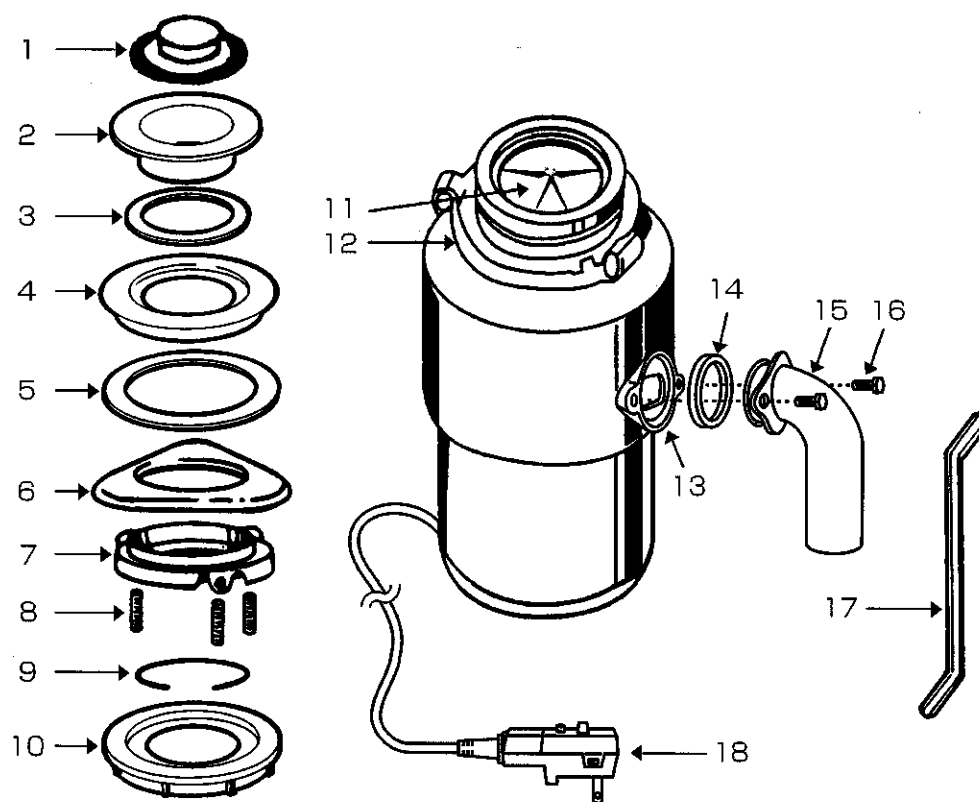
必要になり得る道具

- | | |
|------------|---|
| 1. ドレンオーガー | 6. 銅線 |
| 2. 電源スイッチ | 7. 携帯用ジャッキ
(例: テラオカ、カラーラボ
ジャッキBOY110) |
| 3. 金ご | 8. 水ストッパー
(例: サンエイ 流し排水用
びたっと) |
| 4. パイプレンチ | 9. 電気絶縁テープ |
| 5. ホースバンド | |

1

下の図にてらしあわせて部品が全部そろっているかチェックして下さい。

組み立て用部品は以下のもので成り立っています。



- | | | |
|--------------|-----------------------|---------------|
| 1. ストッパー | 7. 取付リング (上部) | 13. 排水口 |
| 2. シンクフランジ | 8. ネジ3本 | 14. ゴムパッキン |
| 3. ゴムパッキン | 9. スナップリング | 15. 排水管 (エルボ) |
| 4. アダプター | 10. ロックナット | 16. 取付ボルト |
| 5. アダプターパッキン | 11. 取り付け用ガスケット (パッフル) | 17. サービスレンチ |
| 6. バックアップリング | 12. 取付リング (下部) | 18. 漏電遮断プラグ |

2

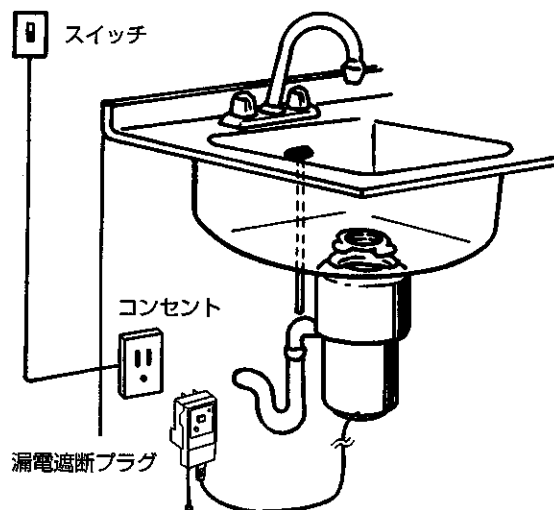
ご使用になっている流しの排水ラインの掃除

新しくこのディスプレイを取り付ける前に、排水ラインの掃除をお勧めします。ドレン・オーガーがあればこの仕事は自分で出来ます。トラップを外して、オーガーを使ってトラップから主排水管に至るまでの水平に敷設してある排水管を掃除して下さい。水平な管と垂直な排水管が交わる部分に出来る固形物をオーガーできれいに取り除いてください。

3

電源の配線と接続

- まず最初に、このディスプレイに使用するためのサーキットブレーカーを切ります。ディスプレイ用に専用の100V、15アンペアの回路を設置して下さい。次に、スイッチからコンセントまでは15アンペア、100Vのケーブルで配線して下さい。
- コンセントとスイッチを設置します。(100V、15A定格スイッチと銅線を別途お求め下さい。)スイッチを操作に便利な位置に取り付けて、コンセントと接続します。スイッチが切っていることを確かめ、ディスプレイの漏電遮断プラグをコンセントに接続します。



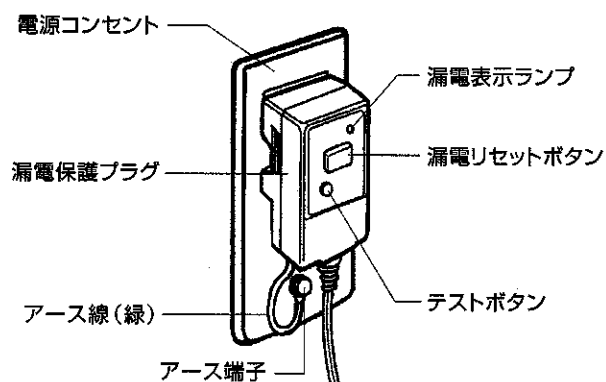
警告

感電

- 本器具の取り付け、または修理の際には必ず電源プラグを抜いて下さい。
- 本器具についている電源プラグを変更しないで下さい。
- 本器具のアース接続用導線を間違えて接続すると感電の恐れがあります。
- 配線はすべて、電気工事士法に基づき行ってください。
- アース線をガス管に接続しないで下さい。
- 正しいアースの配線が済むまでは、電源は入れないで下さい。

■アース線と電源コンセントの確認

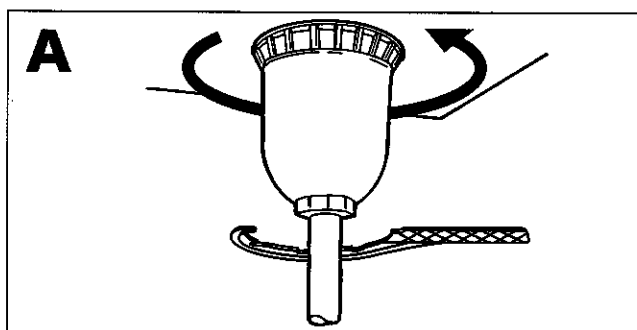
- アース線（緑色）を電源コンセントのアース端子に確実に接続してください。漏電遮断プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。もし漏電表示ランプが点灯していれば、漏電リセットボタンを強く押してください。漏電表示ランプが消えます。漏電リセットボタンを押しても漏電表示ランプが消えない時は漏電している可能性がありますので使用せず、施工業者にご相談ください。
- 漏電遮断プラグは微弱な漏電電流を検知し、電源を遮断し安全性を確保します。（検知電流 15mA）



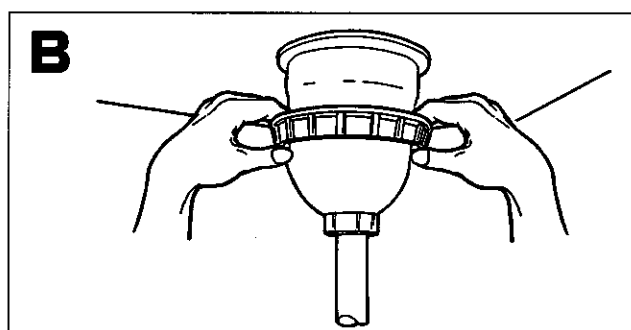
4

流し台のゴミ収納装置をはずします。

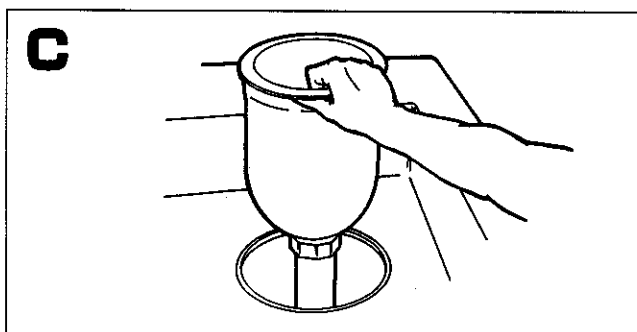
流しの生ごみバスケットとトラップを外します。



ゴミ収納器の下よりロックナットレンチを入れ、ロックナットを緩めます。（パイプ部分を先に外してください）



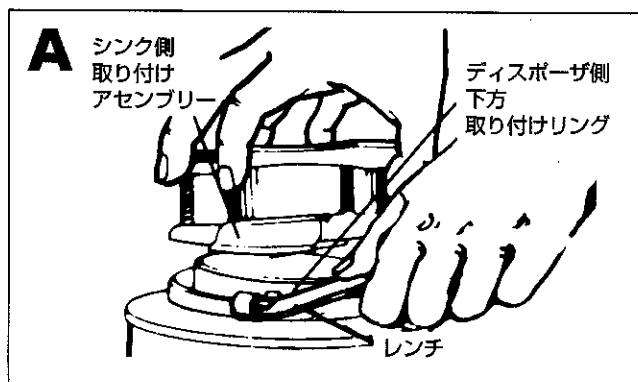
ゴミ収納器ロックナットをはずします。



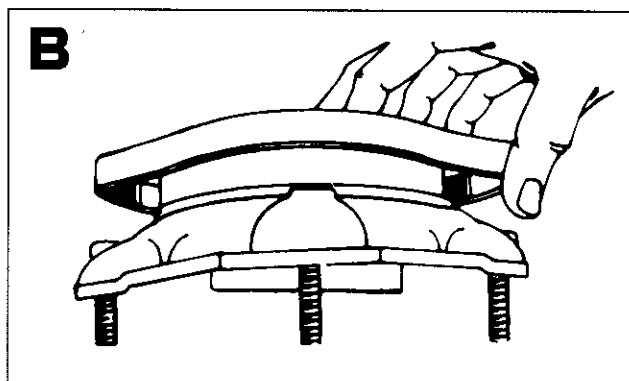
ゴミ収納器を上にはずします。

5

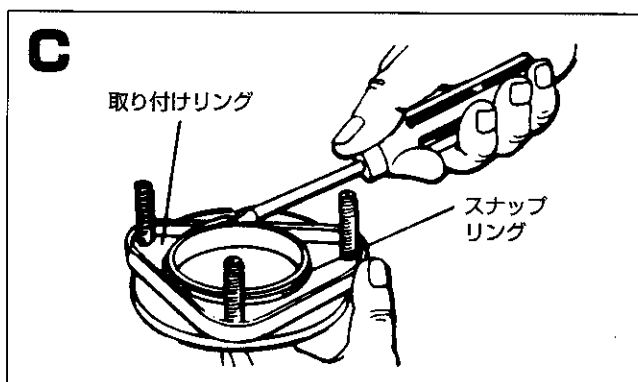
φ115mm (開口穴φ 89mm) の場合
各部品単体に分解します。



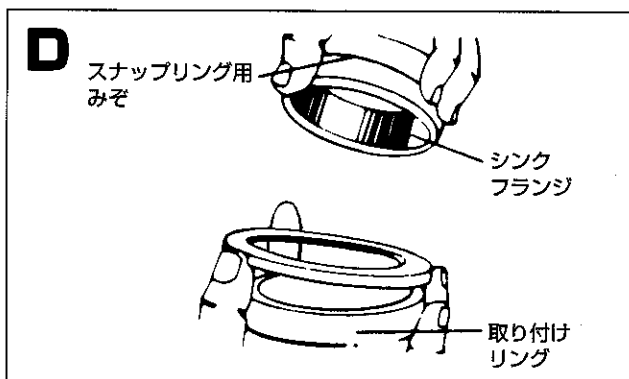
シンク側取り付けアセンブリーをディスボーズ側の取り付けリングから外します。一方の手でシンク側の取り付け用アセンブリーの上部を持ち、左（時計と反対まわり）に回します。その間、もう一方の手でサービスレンチをディスボーズの取り付けリングに付いているラグのどれか一つの穴に差し込み動かさないように押さえておきます。



シンク側取り付け用アセンブリーのネジ先が取り付けリングの表面のレベルに来るまで緩めます。

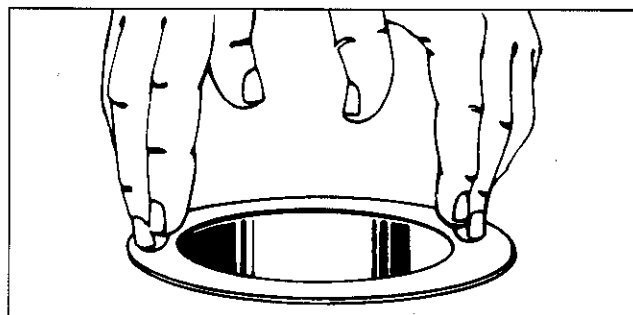
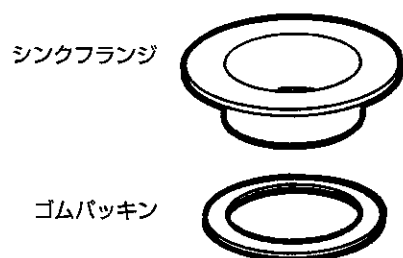


今度は、ドライバーでスナップリングをこじ開けます。



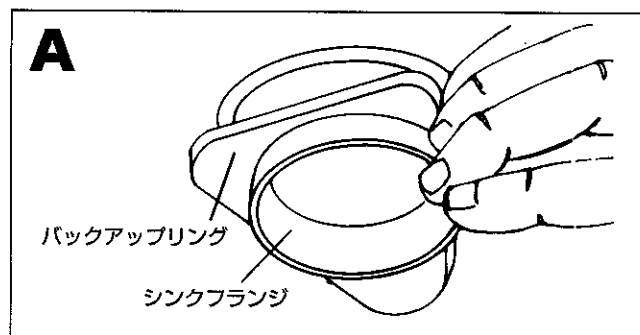
これでシンク側取り付け用アセンブリーは各部品の単体ごとに分解されました。
これらの部品はいったん、このままにしておいて、次のステップに進みます。

6 排水口にゴムパッキンとシンクフランジを当てます。

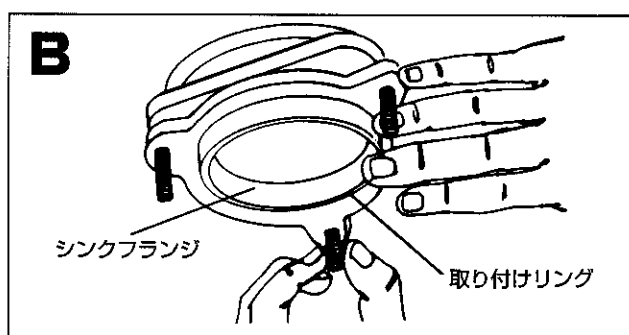


流しの排水口にシンクフランジをゆっくりと差し込みパッキンの真ん中にしっかりと一様に収まるようにします。

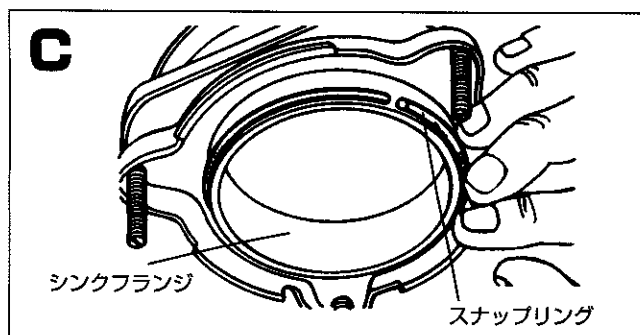
7 シンクの下からバックアップリングを取り付けます。



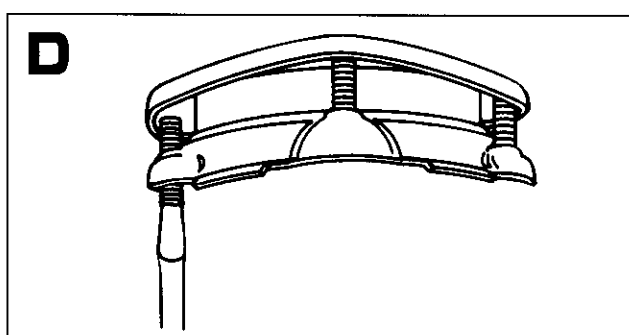
流しの下からバックアップリング（平たい面が上）をシンクフランジに差し込みます。



次に、取り付けリングを下からはめ、バックアップリングをシンクフランジのさらに上の方へと押し上げ、スナップリングをシンクフランジに差し込み、フランジの溝にきちんとはめ込みます。



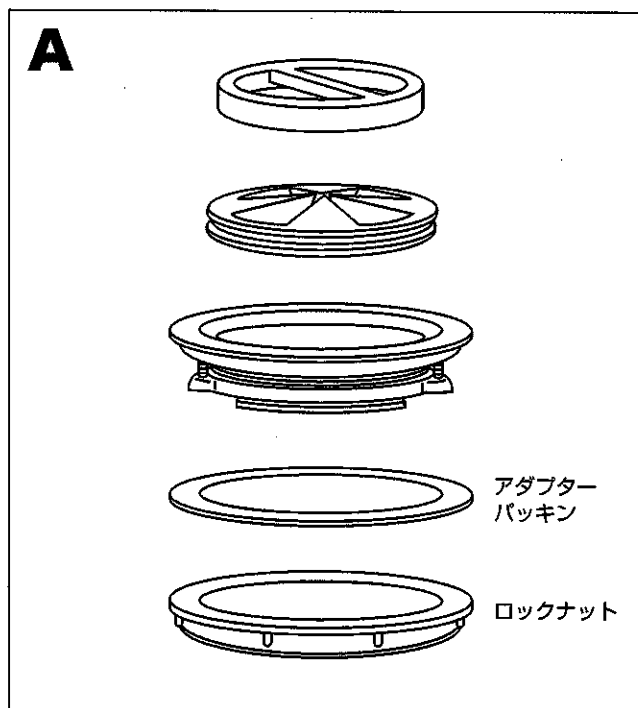
一方の手で取り付けリングとバックアップリングを定位置に保つちながら、3本のネジが付いた取り付けリングをシンクフランジに合わせます。



3本のネジを締めて、流しと取り付け用アセンブリー全体を一樣にしっかりと、流しに取り付けます。

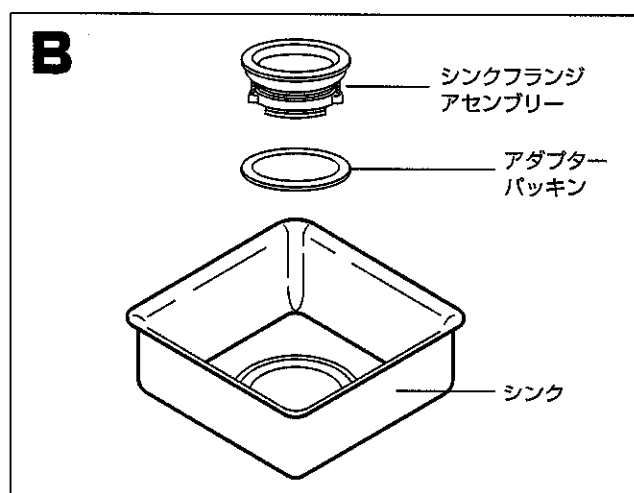
8

φ181mm (開口穴φ159mm) の場合

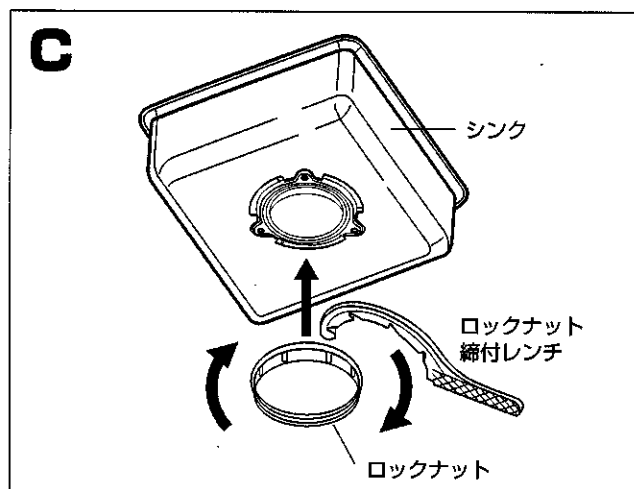


取付フランジを使用する場合

フランジに直接上部分の取り付け用アセンブリーを取り付けて、セッティングしてしまいロックナットをしめつければ取り付けは容易になります。



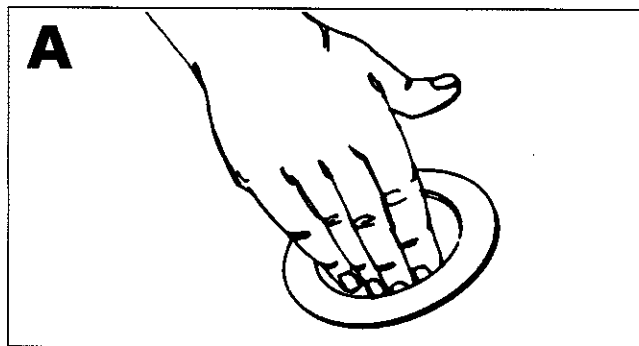
ゴミ収納装置を外したシンク開口部に、シンクフランジアセンブリーとパッキンを上からはめ込みます。



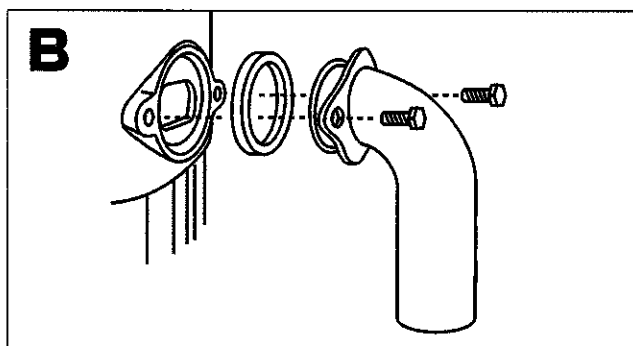
下側からロックナットをロックナット締付レンチでしっかり締めつけます。(ゆるみがあると漏水の原因になります)

9

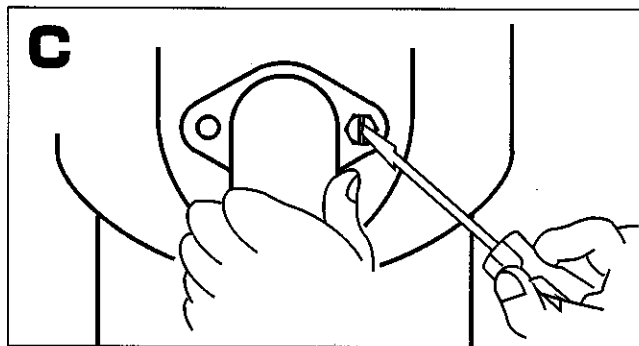
ディスポーザの排出チューブを本体に取り付け、次に排水トラップに取り付けます。



重要: まず、ディスポーザの処理室の中を調べ、異物や埃があったら取り除いて下さい。



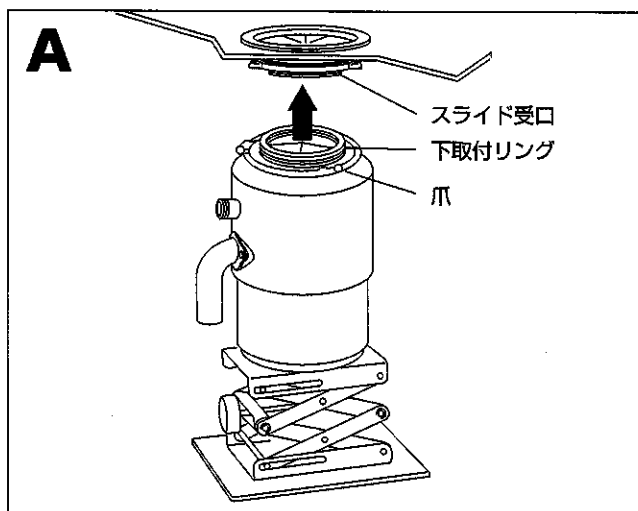
排水管をディスポーザに取り付けます。まず排水口にゴムパッキンを差し込みます。次にメタルフランジを排水管に付け、付属品のボルトで所定の位置に留めます。



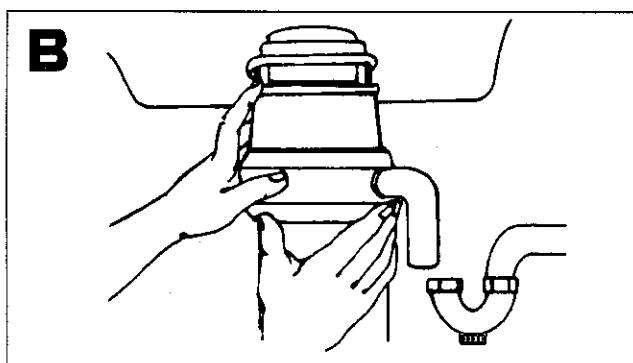
ボルトは水漏れがないように確実に締め込みます。

10

ディスポーザをシンクフランジへ取り付けます。

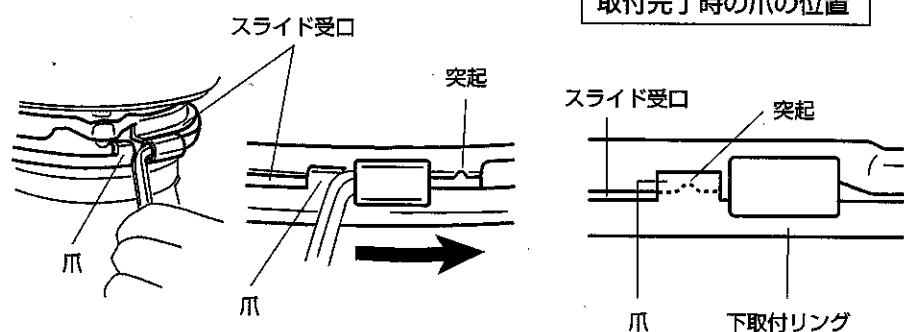


ディスポーザを持ち上げて、下取付リングについている爪を、シンクフランジ3箇所のスライド受口に合わせます。(携帯用ジャッキの使用を推奨します。)



ディスポーザを回して、排水トラップに合せます。

注: ディスポーザ内の水のよどみを防ぐためにディスポーザのごみ排出口の高さは排水管ラインの水平レベルより高い位置に置いて下さい。

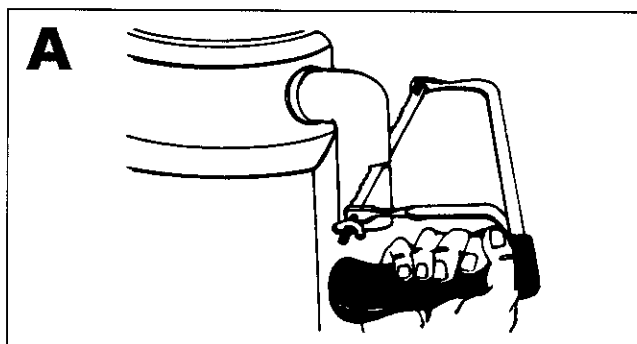
C

下取付リング3箇所の差込穴の1箇所にサービスレンチを挿入し、シンクフランジ3箇所のスライド受口に合わせ、ストッパーの中央に爪が乗るまで右いっばいに回します。事前にスライド受口にシリコンオイルを塗布しておけば容易に回せます。爪がストッパーに乗らない時はウォーターブライヤーでシンクフランジと差込穴をはさみ、強く締めつけてください。

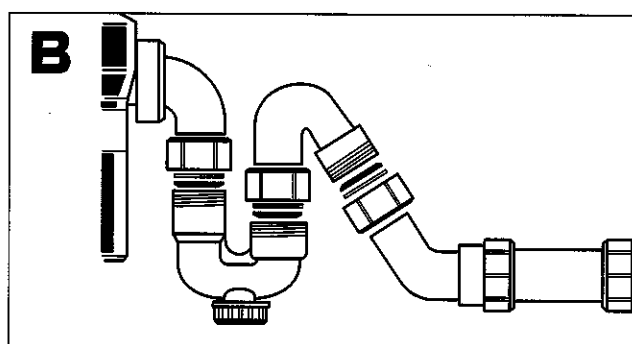
11

トラップの取り付け

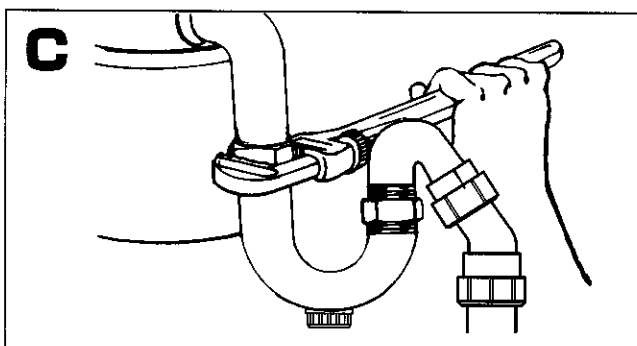
1. Pトラップの場合



管が長すぎたら。
必要なだけ金のかで切って下さい。
切り口が綺麗で真っ直ぐになるように切ってください。



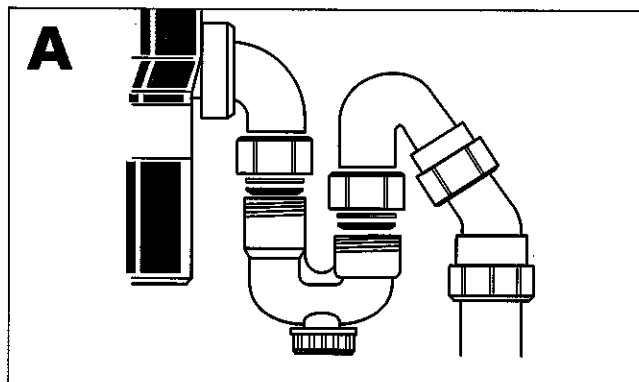
管が短かく、排水管が排水トラップの出口まで届かない場合は、延長用の管を用いて接続して下さい。



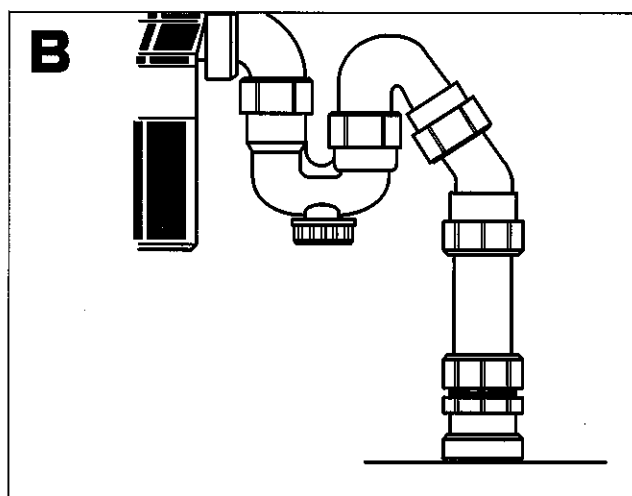
ぴったりと合ったら、トラップの締めネジを締めて排出管としっかり接続して下さい。

2槽式シンクの場合、又は1槽式でオーバーフロー、又は、洗剤を入れる排水口のある場合には、排水口の立ち上げは個々に行ってください。

2. Sトラップの場合

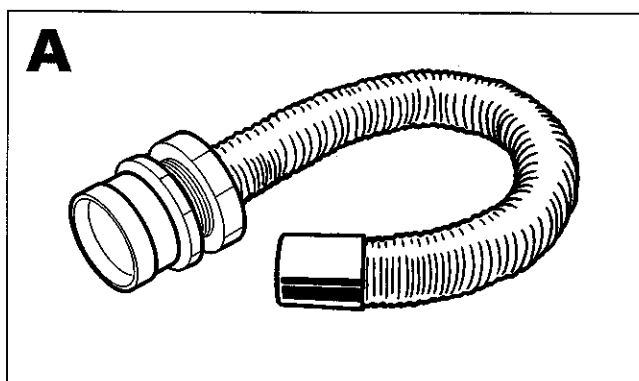


ディスポーザの排水口にSトラップを取り付けます。

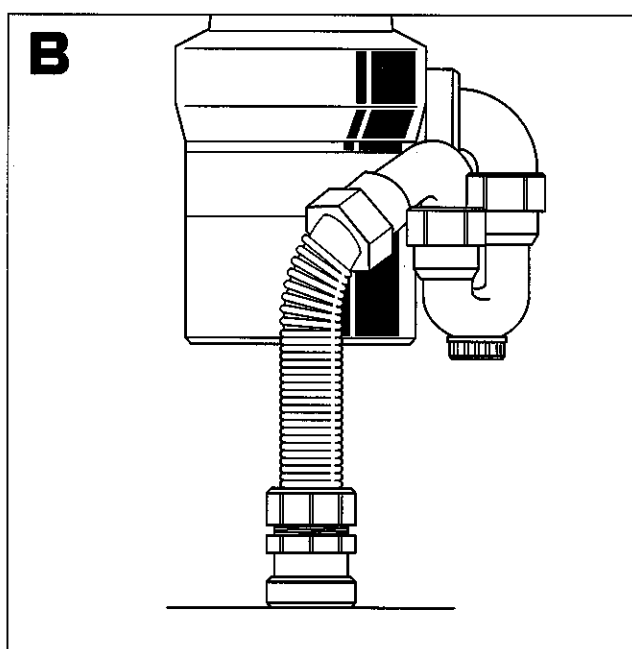


Sトラップの下端を下水の配水管に接続します。

3. フレキシブルホースの場合



下水配水管の位置がトラップの下端とうまく合わない場合にはフレキシブルホースを使用して下さい。この場合にはホースしめつけ金具を使用します。



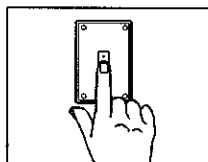
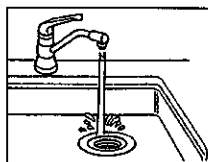
運転方法

1. ディスポーザの蓋を外して、水を十分に流します。

(水はディスポーザの使用中は流し続けます。)

これを怠ると排水管詰りの原因になります。

2. スイッチをONにして、ディスポーザを作動させます。作動中に生ごみを入れて下さい。



水の流し方

効果的に処理するための流量は毎分約8リットル(蛇口全開の半分)です。配水管の詰りを防ぐため、必ずまず最初に水を流し、その後でディスポーザの電源を入れます。処理が終わったら、ディスポーザを止めて下さい。

処理が済んだ後もしばらく(約10秒間)流水を続けて、排水管が水平に設置されている部分の排水を、完全に行う必要があります。

運転上の注意

- 処理中には蛇口全開の半分程度の水を流し、処理後も10秒間流したあとで水を止めて下さい。
- 処理の後や流し台の排水の後には水を流して下さい。
- 処理が終わる前にディスポーザや水を止めることは避けて下さい。

- 次の生ごみは下記の要領で投入口に入れてください。

メロンの皮・スイカの皮など、厚いもの
(粉碎室からトラップへ排出されない恐れがあります)



5cm程度に刻んで投入してください。

生魚の皮・鳥の皮・大きな果実の種など
(正常に粉碎できないことがあります。)



多量に投入しないでください。

軟らかい餅などねばりつくもの



少しずつ他の生ごみと混ぜて処理してください。

- 投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。

- 金属 ●プラスチック ●陶器類
- 紙 ●木類 ●たばこの吸いガラ
- ラップ ●ビニール ●ゴム類など

- 熱湯 ●熱い天ぷら油 ●熱いカレー等の高温のもの ●多量の生クリームやマヨネーズ
- サラダ油や天ぷら油等の廃油 ●大量の酸
- アルカリ性洗剤

●かたい生ごみや強い繊維質のもの

- サザエ、アワビ、ハマグリ等の貝殻 ●かに類の殻 ●大きな魚の骨 ●多量の生米
- 調理前の固い餅 ●桃や柿などの硬い種
- タケノコや栗の皮 ●トウモロコシの皮や芯 ●多量の枝豆の皮 ●生け花 ●パイナップルの芯 ●バナナのヘタ ●生魚の皮

※処理槽で正常な処理ができなくなります。また、故障や排水管詰まりの原因になることがあります。

- 投入口に、次のような物を多量に入れないでください。食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

- サラダ油 ●天ぷら油など ●台所用洗剤
- 酒類 ●薬品類(殺虫剤、除草剤など)

※処理槽で正常な処理ができなくなる原因になることがあります。

日常のお手入れ（消臭方法、ヌメリ取り）

ディスポーザから異臭がするのは通常、流水の量が不足し内部の清掃が良く行われなかった結果、少量の油脂や残余物が蓄積している場合が多いので次の処理を行って下さい。

1. レモンの皮を1～2個分処理して下さい。
2. ディスポーザの電源を切り、フタスイッチの下のコム製のブラッシュガードの裏側を清掃します。その後、ディスポーザ本体内部の上部入り口を磨いて下さい。
3. 流しに止水蓋で栓をしてぬるま湯を半分程満たします。そこに重曹（大匙4～5杯）を加えてかき混ぜ重曹溶液を作ります。ディスポーザのスイッチをいれて、蓋を外します。これで水はディスポーザ内部の隅々まで行きたり、清掃が行われます。重曹がディスポーザの内部の汚れを除去します。

4. ヌメリがある場合は、氷の小片をディスポーザに入れて粉碎して下さい。



警告

重曹が目に入らないように注意して下さい。



警告

火災事故、感電事故、人身障害等の危険についてのご注意

電気器具をご使用の場合にはつぎのような基本的な注意事項を必ずお守り下さい。

1. 器具をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
2. ご使用中、子供が近くに居るような場合には、とくに注意して事故が起こらないようにして下さい。
3. 指や手をディスポーザの中に入れないで下さい。
4. ディスポーザから異物を取り除く場合は、必ず電源コンセントを抜いてから、長柄のドライバーかプライヤーを使用して異物を取り除いて下さい。異物がディスポーザ内部に噛み込んで取り出しにくい場合は、サービスレンチをディスポーザ底部の中心にあるモーターシャフト穴に差し込んで手動でいずれかの方向に回転させるとはずれます。
5. ゴム製のブラッシュガード（水飛散防止）が劣化して、水滴のはねかえりや噴出の防止能力が落ちた場合には交換して下さい。
6. リセットボタンを押す場合には、必ず前もって電源コンセントを抜いて下さい。
7. アースに関するご注意。
 - 本機器は必ずアースして下さい。万一、機能不全や故障が発生したときは、アースは電流を地上に直接逃し感電事故の危険性を減じます。正しく取り付けられてアースがしてある適切なコンセントに接続してください。
 - アース用導線を間違えて接続すると感電の危険があります。

故障と思われる時の対応

ディスポーザ作動中の大きな騒音

通常、スプーン、瓶の栓などの硬い異物がごみと一緒に間違っ

て投入されたときに発生します。まず、電源を切り、水を止めます。回転板の回転が止まってから、スプラッシュガードを外して内部を点検して下さい。異物があれば長柄のドライバー、ペンチ又は菜箸を使って取り除いて下さい。

回転板上のハンマに異物が固着している場合にも、大きな振動が発生することがあります。ハンマが自由に回転するかどうか確認して下さい。自由に回転しない場合は、原因となる異物を、菜箸等を用いて取り除いて下さい。

作動中のモーター停止

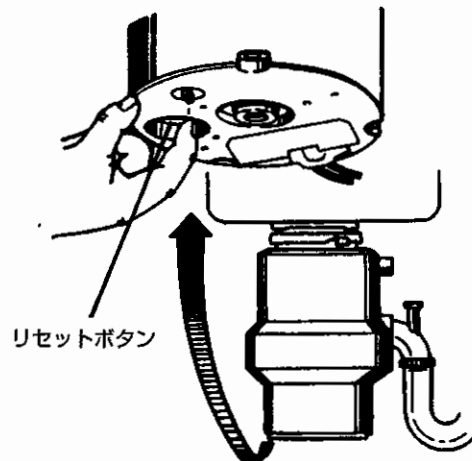
ディスポーザのモーターに負荷がかかり過ぎた時にモーターが停止することがあります。まず、過負荷の原因を調べます。なんらかの破砕できない硬い異物が混入している可能性があります。

必ず電源プラグをコンセントから抜き、前述のように異物を取り除いて下さい。約5分ほど待ってからディスポーザの底部についている赤いリセットボタンを押して下さい。それから電源を入れて下さい。それでもまだモーターが動かない場合には、ヒューズボックスやブレーカーを調べて下さい。

排水の不具合

排水に思ったよりも時間がかかり、生ごみが浮いたり、処理に長時間かかる場合は、排水管の一部が詰まっている可能性があります。まず市販のラバーカップをディスポーザの投入口に当てがい10回ぐらいラバーカップを動かして下さい。それでも直らないようでしたらドレン・オーガーを使って詰まりを取り除きます。

(お分かりにならない場合は、専門の業者またはサービスマンに依頼して下さい。)

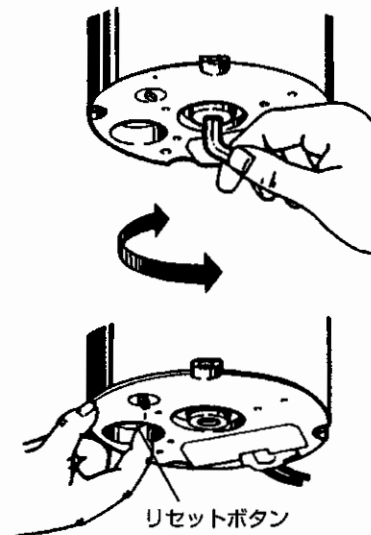


異物の詰まり・噛み込みの解除

詰まり・噛み込みの解除方法

異物が混入するとディスポーザが詰まることがあります。詰まりを除くに当たっては、人身傷害を避けるため必ず以下の手順に従って下さい。

1. 電源プラグをコンセントから抜き、水を止めます。
2. 付属品のセルフサービスレンチの一方を図の様にディスポーザの底の中央の穴に差し込みます。
3. レンチが自由に一回転出来るようになるまで回します。回せない場合は、ディスポーザ内部の異物を取り除きます。
ディスポーザを再スタートさせる前にレンチは外して下さい。
4. ディスポーザのモーターが冷えるまで4、5分待ってから赤いリセットボタンを押します。(右図参照)



⚠ 警告

赤いリセットボタンを押す前に、電源プラグをコンセントから抜いていることを確かめて下さい。

● お問い合わせ

- 本製品のトラブルや不明点などは、販売店または施工業者にお問い合わせください。
 - ➡ 付属の保証書に捺印された販売店または施工業者まで、ご連絡ください。
 - ※ 保証書にある保証期間を過ぎた場合は、有償修理となります。
- 販売店または施工業者でも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

「取扱方法やディスポーザーに関するお問合せ」

 株式会社 日本エスコ

☎ 0120-101-539

公式WEBサイト：www.esco-j.com



本マニュアルの一部、または全部について、無断でデータの複製、複写、転載することを禁じます。

78287 Rev B J